

## 事業所名 グループホーム六じょうや

## 運営推進会議開催報告書

開催日時 令和3年12月23日(木)		
参加者(今回は新型コロナウイルスのため集まらず、資料を配布した人数)	議 題	
利用者 0名	1	六じょうや基本理念・目指す場所
利用者家族 9名	2	入居者情報
地域住民の代表者 3名	3	利用者の医療看護の状況
市職員 1名	4	行事報告 実績写真添付
地域包括支援センター職員 1名	5	身体拘束廃止委員会
見識者 0名	6	今後の事業計画
事業所 0名		
会 議 録		
<p>今回は新型コロナウイルスの感染拡大の危険があるため、室内で集まらずに資料をお渡しして回答を待つ形で行いました。</p> <p>2 入居者要介護度の状況、平均年齢、平均介護度、年齢別介護度、面会者数などについて前回との変化を報告しました。</p> <p>3 入居者の医療看護の状況(R3.10.27~R3.12.23の期間)を報告しました。  〔利用者の転帰状況〕  〔入居者の看護、介護の状況〕  〔利用者の健康教室開催状況〕 講師矢萩看護師</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月 気候、寒暖について</li> <li>・12月 インフルエンザ予防接種の説明とオミクロン株について 入居者参加と職員参加で一緒に勉強しています。(別々に参加)</li> </ul> <p>4 主な行事報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月5日 10日 避難訓練</li> <li>・11月吉日 紅葉ツアー</li> <li>・12月12日 誕生会</li> </ul> <p>各行事の楽しさを説明し、写真を添付してご家族にも知って頂きました。</p> <p>5 身体拘束廃止委員会</p>		

最近は新しい虐待の一種として、「セルフネグレクト＝自分で自分の出来る世

話をやらずに衰弱していく」の人がいるそうです。例えば、食べないとか飲まないなど、食事や水分も自分が摂取しようとしなければ、他人からは何ともできません。そんな人に対して、嫌がる腕を拘束して口に食べ物を運んだり、無理して飲ませようとするのは、拘束にあたるのか？どのように思いますか？

(瀬戸市職員)

生命や身体の危機があると判断される場合、身体拘束にはあたらないと考えます。セルフネグレクトにある方については、判断力の低下や社会的孤立等なんらかの理由があり、現在の状態になっているかと思います。ご本人の想いを聞き入れ、食事の提案や清潔の保持等具体的な対応をしていただければと思います。

(職員)

- ・なぜ自分で自分を衰弱させるほど、生きる気力がないのか、複雑な原因だと思われるため、簡単にセルフネグレクトを治せないかもしれないが、一緒に寄り添って話しながら努力はしたいと思います。嫌がる腕をおさえこんでまで食べ物を口に入れても仕方のない方法かもしれませんが、実際に有効な手段とは思えませんし、その行為を拘束と思った方が介護者としてはいいかもしれません。精神科などの医療機関と対応して介護にあたる必要があると思いますが、前向きに生きようとしてもらえるといいと思います。

(その他の意見)

(瀬戸市職員)

Q避難訓練についてリヤカーの使用等工夫して実施したことが報告書と写真から伝わってきました。避難までどれくらいの時間を要しましたか。また良かった点や反省点がございましたら教えてください。

Aリヤカーは危険なのでその部分だけは、職員だけで行いました。車いすごとリヤカーに乗せて玄関まで避難したのは、おおよそ10分くらいだと思います。実際に全員を避難させるのは、本当に大変だと思いますので、火事だけは出さないように、いつも多角的に注意しています。訓練を行った後に、認知症状があり、興奮してしまう方もいますので、訓練だけですまないことがあるのが注意点です。

## 6 今後の事業計画

- ・今期を振り返って
- ・設備等の整備について
- ・職員の定着について
- ・今後の主な行事について

11月5日、6日避難訓練      11月吉日紅葉ツアー      12月12日誕生会

- ・入居者状況

- ・次回運営推進会議      2022年2月24日(木)

(新型コロナウイルスにより集会が無理な場合は資料をお届けし、ご意見をお待ちしています)。